



身近な自然を生かして、冬を満喫

ネイパル森

冬の大沼大冒険

1 事業のねらい

北海道の冬でしか味わえない貴重な自然体験を通して、自然の素晴らしさを感じながら、ふるさとへの愛着を育む。

2 事業の概要

- 期日 R6.2.17(土)~18(日) 1泊2日
- 対象 小学校3年生~6年生
- 人数 37名 (応募57名から抽選)
- 場所 ネイパル森、大沼

3 プログラム

0 /	00	01	02	03	04	05	06	07	08	1 /	10	11							
1.0 橐 '(◀ K 携 ▶ 0 / 翌 /	携カ や	円⇒ 0 山 + 兎 値 招 一 τ Π σ 〴 . B η 楡 値 招 居 τ 億 6 ♪ 疏 呢 精	円⇒ 0 山 山 一 〴 ~ θ ~ η	一 眠 ~ 敗 一	一 呢	円⇒ 0 山 山 一 〴 ~ θ ~ η し ~ L η	〴 宜	寓 味 〴 同 〴 〴 〴 〴	〴 〴	5	6	7	8	0 /	00	01	02	03
1.0 棘 '(慎か 5 翌 /	此 呢	拍 * 几 mm 円 ⇒ 〴 〴	円 ⇒ 〴	疏 呢	kA ~ 威 ~ 燃 〴 や	徒 早 02 翌 /											

4 ねらいを達成するための活動の工夫

- 日常でないことの提示による活動意欲の喚起
 - ・湖上を歩いて渡るといふ非日常の体験を活動に入れることにより、活動意欲を喚起するとともに、一生の記憶に残る体験とした。
- 楽しみながら大沼横断をできるプログラム
 - ・約2時間、変化のない氷上を歩き続けるという単調な活動になるため、横断中の氷上で大沼にちなんだクイズを行ったり、弁当を食べたりと参加者が飽きないように工夫した。
- 徹底した安全管理を行った体験プログラム
 - ・安全に横断するため、ルートを念入りに選定し、アイスドリルで氷に穴をあけて氷の厚さを測るなど、前年度から十分な事前踏査を行った。
 - ・ルートロスに備え、GPSを活用したトラックログアプリを使ってルートを確認できるようにした。

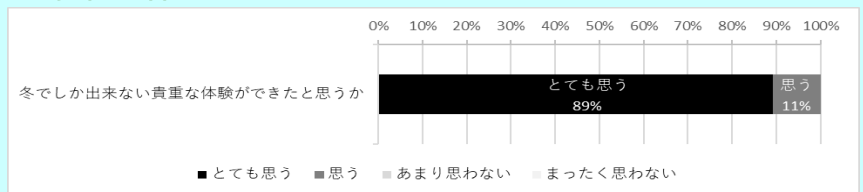


身近な自然を生かした体験活動



かまくらの中でおやつを食べながら交流

5 事業の評価



- 参加者アンケートから「冬でしか出来ない貴重な体験ができたと思うか」の項目で、100%が肯定的な評価をした。
- 参加者の声「普段は行くことのできない大沼の湖上で貴重な体験ができてすごく楽しかった。」

6 ねらいを踏まえた成果と課題

- アンケートでは、「冬でしかできない体験ができた。」「クイズで大沼のことを知ることができた。」「月や星がきれいだった。」などという声が多く、概ねねらいが達成できたと考える。
- 「ふるさとへの愛着を育む」ということへつなげるための仕掛けや、ふるさとの素晴らしさをふりかえる時間を意図的に設定する必要がある。



企画のポイント

ネイパルの事業でしか体験できない貴重な場の提供と安全管理の徹底。